

滋賀県労働者福祉協議会
 日本労働組合総連合会 滋賀県連合会
 近畿労働金庫滋賀地区本部
 全労済滋賀推進本部
 滋賀県勤労者住宅生活協同組合
 滋賀県生活協同組合連合会
 ユ・メディア株式会社

滋賀県労働福祉新聞

豊 かな く ら し

滋賀県労働福祉新聞
 豊かなくらし 第721号(改題556号)
 平成30年11月15日発行(毎月1回15日発行)
 編集 大津市打出浜2番1号
 コラボしが21 6階(〒520-0806)
 発行人(社)滋賀県労働者福祉協議会
 柿迫 博
 TEL 077-524-6290・FAX 523-4070
 URL http://www.s-rofuku.com
 E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
 印刷所 ユメディア株式会社

～『2018 中部労福協研究集会』を滋賀県にて開催しました～

10月11日(木)～12日(金)、滋賀県草津市「クサツエストピアホテル」において、2018年度中部労福協研究集会を開催しました。本年度は滋賀県開催となり、地元滋賀県(労福協役員、事業団体、地区労福協)からの参加者22名を含む北陸3県・東海3県・近畿6府県から総勢76名が参加しました。

集会冒頭、主催者を代表して中部労福協・辻政光会長から挨拶がありました。

一日目の開催地特別講演では、前滋賀県知事・前びわこ成蹊スポーツ大学



【嘉田由紀子 講師】

学長の嘉田由紀子氏より「近畿の暮らしと命を守る琵琶湖～災害多発時代の自助・公助の仕組みを考える～」と題し、ご講演をいただきました。近畿圏1,450万人の命の水源地である琵琶湖は、平成4年の治水・利水を目

的とした琵琶湖総合開発により、下流府県の水供給を安定させると共に、人為的な水位の操作によって下流の京都・大阪平野を洪水から守ってきました。一方で、水位の人為的操作の結果、琵琶湖の在来魚介類の犠牲も伴いました。

また、近年の災害多発時代の自助・共助の仕組みを考えると、岡山県倉敷市真備地区の悲劇はなぜおきたのか。過去から洪水被害を受けてきた真備地区は、地域の水害予防組合が防災に努めてきました。しかし、1974年に組合が解散した後の防災は行政に頼る事になり、結果大きな被害を受けました。元来自然災害が多発する日本では、行政だけに頼ると自らの命と大事な人の命は守りきれない、内発的自助を育てる必要があるという内容でした。下流地域(大阪府、京都府)で生活する参加者からも活発な質疑、意見交換をする貴重な時間となりました。次に、認定NPO法人 四つ葉のクローバーさんより「居場所のない若者達が社会へ旅立つために～四つ葉のクローバー・支援の現場から見えるもの～」と題し、ご講演をいただきました。理事の森重重則氏からは、現在の児童虐待の実態と児童養護施設に暮らす子ども達が直面する課題について説明いただきました。子どもたちが安心できる居

場所を地域で支えていく「応援団」の存在の必要性について述べられました。続いて、施設長の池上悠樹氏より「認定NPO法人 四つ葉のクローバー」の取り組み(①住居支援②自立支援③就労支援④アフター支援)について紹介と、四つ葉みらい基金への協力依頼がありました。児童養護施設の子どもの問題は、それぞれの家庭の



【森重重則 講師】

問題の集積で、それはそのまま社会の問題であり、つまり我々の問題であるからこそ、一人一人に寄り添った継続的な支援が必要であること、また我々が全国一斉に取り組む『給付型奨学金』がどうしても必要であるか、という根本の部分についても



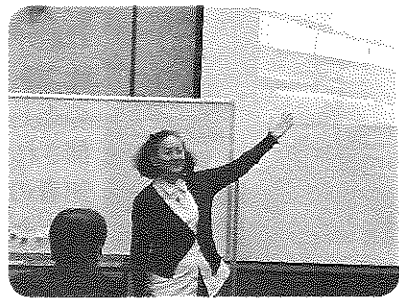
【池上悠樹 講師】

当事者の視点から訴えていただきました。

嘉田講師からの『もったいない』、四つ葉のクローバー創設時の杉山真智子理事長の『ほっとけない』という精神は、労働福祉の向上を目指す我々の活動にも通ずるものがあり、参加者は各講演を熱心に聴き入っていました。

二日目の講演では、一般社団法人イマココラボの風かおる氏より「カードゲーム2030 SDGs」と題しご講演いただきました。カードゲームを通して持続可能な開発目標『SDGs』を身近なものとして体験するという試みでした。

理解ができない状態でゲームが始まった参加者もありましたが、徐々にSDGsの世界観をゲームというわかりやすいツールを使って体験し、これからの世界で重要になる社会システムのあり方を見つめ直すとともに、視座・意識の変容を生み出すきっかけとなりました。



【風かおる 講師】

最後に、中部労福協の井端副会長によるまとめの挨拶で集会を閉会しました。



2018 全国福祉強化キャンペーン 実施中



2018年度も、県労福協、各地区労福協、事業団体が連携し、全国一斉の共通テーマを基軸に福祉強化キャンペーンを実施しています。また、各地区では別表のとおり街頭キャンペーンを執り行います。皆さまのご協力よろしくお願いいたします。下記、WEBアンケートも11月30日まで実施しておりますので、皆さまのお声を届けていただければ、と思います。

【全国一斉共通テーマ】

- ①労働者自主福祉運動で共助の輪を地域に広げよう！
- ②奨学金制度を改善し、教育費負担軽減につなげよう！
- ③生活・就労支援を地域のネットワークで支えよう！



2018 全国一斉 Action!
福祉強化キャンペーン

**奨学金制度を改善し、
教育費負担軽減につなげよう!**

■奨学金制度の更なる拡充と教育費負担の軽減を求めて声をあげよう！
■未来を担う若者や子どもたちを支えよう！
■奨学金と教育費負担のアンケートを行おう！

WEBアンケート実施中！
<https://www.rofuku.net>

奨学金アンケートにご協力ください！

なんでも相談しよう！

2018 全国福祉強化キャンペーン

【2018福祉強化キャンペーン 街頭活動計画一覧】

地区	実施日	開始時間	実施場所
大 津	11月12日	18:00	石山駅
草津栗東	11月20日	18:30	草津駅
守山野洲	11月14日	7:15	守山駅
湖南甲賀	11月21日	18:00	貴生川駅
近江八幡	11月15日	18:30	近江八幡駅
東近江			
彦 根	11月8日	18:00	南彦根駅
湖 北	11月5日	18:00	長浜駅
高 島	11月21日	6:30	近江今津駅

～ 2018 事業団体役員・ 推進委員会合同研修会～ を開催します。

開催日時：2019年2月6日(水)14:00より

会場：琵琶湖ホテル 大津市浜町2-40

特別講演：

- ①滋賀県生協連合会 副会長 西山実氏
「協同組合の歴史的社会的使命」
- ②全労済滋賀推進本部 事務局長 白川尚正氏
「自然災害と全労済の取り組み」

※豊かなくらし10月号にてご案内しましたが、開催日時、場所が変更となりましたので、訂正しご報告いたします。

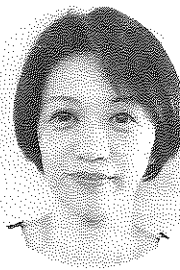
問合せ先：(一社) 滋賀県労働者福祉協議会
TEL 077-524-6290

※その他詳細は、決定次第ご案内申し上げます。

労福協職員採用

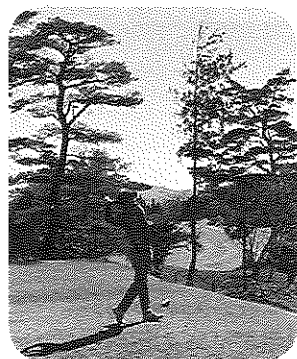
県労福協では11月1日より新規職員
中山仁見さんを採用しました。

中山さんには、豊富な事務経験を生かし、新鮮な感覚で労福協業務の一端を担っていただきますので、これまでの職員と同様、よろしくお願いいたします。



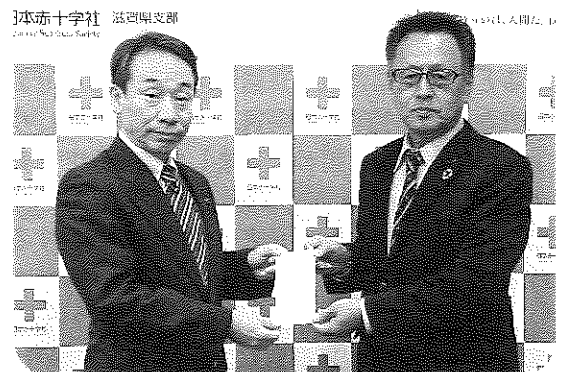
中山 仁見さん

第34回チャリティゴルフコンペを開催しました！ ～集まったチャリティ金は190,000円～



11月7日(水)、晴天に恵まれ絶好のゴルフ日和の中、近江カントリー倶楽部において恒例のチャリティゴルフコンペが開催されました。26組98名の参加者の皆様より190,000円ものチャリティにご協力いただきました。

皆さまからご協力いただきましたチャリティ金は、翌日11月8日に日本赤十字社滋賀県支部の「平成30年7月豪雨災害義援金」へ全額寄付させていただきました。災害に逢われました方ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



また、本年は近江八幡市安土町の「社会福祉法人きぬがさ作業所」様より参加賞として一つ一つ手作りの湯呑みをご準備いただきました。

自然災害が多発した本年は、自助・共助の大切さを改めて実感した年でもありました。連帯・協同で、安心・共生の福祉社会の実現に向けて、今後も関係諸団体一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

地区労福協だより

(大津地区労福協)

～“大津祭” 曳山ボランティアに参加～

去る10月7日(日)、歴史ある湖国三大祭の一つ“大津祭”の本祭・曳山巡行が行われ、多くの観光客でにぎわいました。今年も大津地区労福協からは13単組20名が曳山ボランティアとして参加、「郭巨山」を担当しました。天孫神社を朝9時に出発し、「コンチキチン」の囃子とともに、夕方まで丸一日をかけて旧市街を巡行しました。



“大津祭”は天孫神社の祭礼で、山王祭(日吉大社)、船幸祭(建部大社)とともに湖国三大祭と呼ばれています。江戸時代から三百有余年継承されてきた伝統と歴史を誇るお祭で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。13基ある三輪の曳山に中国故事や能・狂言を題材とした絡繰り(からくり)が



施されているのが特徴です。当時の一流細工師による精巧な作りで、日本芸能史上においても注目されている一品ばかり。大勢の見物客の目を惹きつけていました。

曳山が町内へ戻るときにはすっかり回りも暗くなり、参加いただいた皆さんも一様に疲れた表情でしたが、大津町人文化に触れることができたという満足感と、無事に曳き終えたという充実感でいっぱいでした。これからも、大津地区労福協はこの伝統を守り伝えていくために協力していきたいと思えます。ご協力いただきました組合員の皆さん、本当にありがとうございました。

来年は、あなたも参加してみませんか?

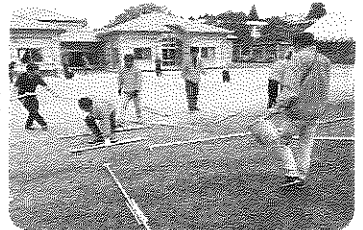
(大津地区労福協 事務局長 浦谷明生)

(湖南甲賀地区労福協)

～知的障がい者更生施設一麦(いちばく)

2018 運動会ボランティアに参加～

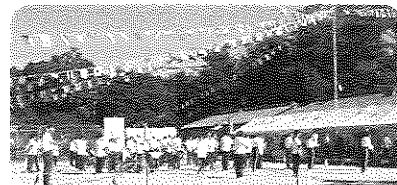
10月7日、8日の2日間、湖南市にある知的障がい者更生施設「一麦(いちばく)」の運動会ボランティアに参加しました。今年で4年連続の参加になります。7日は前日準備でテント張りや草刈り、椅子運びを行い、8日は駐車場係、寮生や来場者に配布する弁当の袋詰め、後片付けなどをお手伝いし、2日間で8労組、のべ21人の参加が得られました。



この運動会は、施設ができた1年目から続いて今年で57回目を迎えました。ここで生活する寮生の平均年齢も半数以上が60歳を超えておられるということで高くなっているようですが、元気で明るい方が多く、普段からの職員と寮生が良好な関係を構築できているのがよく分かりました。

今年は開催前に台風25号が西日本に接近するということもあり心配していましたが、当日は秋晴れの空の下、寮生の家族や我々ボランティアも飛び入りで競技に参加して、温かい雰囲気で行われました。

ボランティア参加者には前日と当日に今年初めて来られた



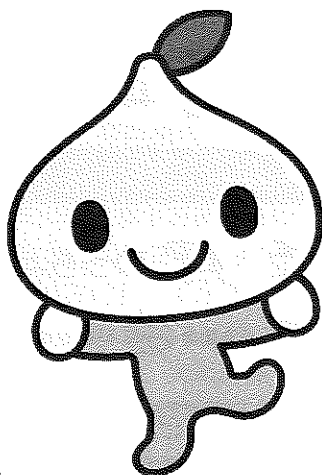
方もおられ、一麦運動会の活動について改めてご理解いただいたようで、「参加できてよかったです。」と言って帰ってくれました。毎年少しずつ参加者が増えていることは大変喜ばしいことであり、来年もより参加者の輪を広げていきたいと思えます。

ボランティア参加者には前日と当日に今年初めて来られた方もおられ、一麦運動会の活動について改めてご理解いただいたようで、「参加できてよかったです。」と言って帰ってくれました。毎年少しずつ参加者が増えていることは大変喜ばしいことであり、来年もより参加者の輪を広げていきたいと思えます。

(湖南甲賀地区労福協 事務局長 亀井直弘)

ZENROSAI NEWS

2518B007



全労済
公式キャラクター
ピットくん

火災と自然災害にしっかりと備える。
たすけあいから生まれた住まいの保障。

全労済の住まいる共済

火災共済・自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら



全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済 滋賀推進本部

(滋賀県勤労者共済生活協同組合)

<https://www.zenrosai.coop>

大津支所

大津市におの浜 4-5-1

TEL 077-524-6031

彦根支所

彦根市大東町 4-28 彦根勤労福祉会館 2 階

TEL 0749-24-6605

【営業時間】9:00～17:00【休日】土・日・祝日・年末年始